



# 新型コロナウイルス感染症の影響 本調査

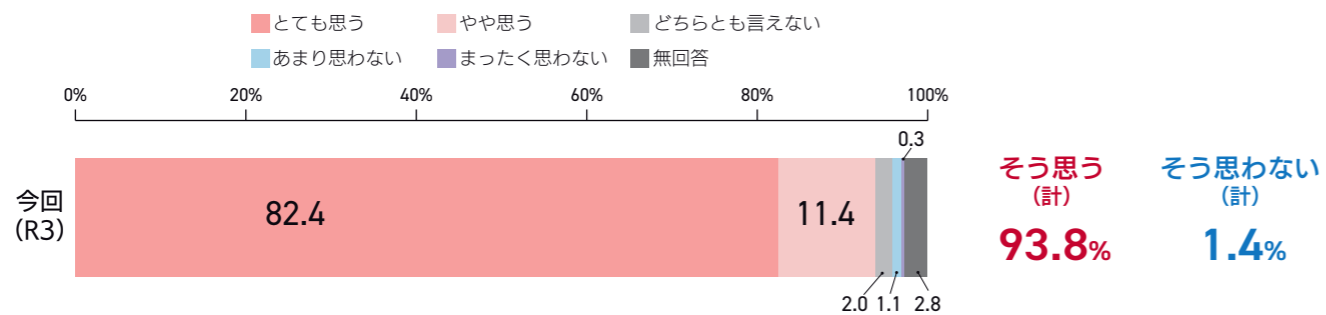
2019年末頃からの新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、国内における生活様式や経済活動などに多大な影響を及ぼしており、沖縄県内のくらしや経済においても、影響を及ぼしている状況が続いております。

本調査は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況下の2021年8月に実施した調査のため、本結果に何らかの影響が出ている可能性があることも考えられます。

## 新型コロナウイルスの日常生活への影響

「新型コロナウイルス感染症」が日常生活に影響を及ぼしている、または及ぼしたと思いますか。

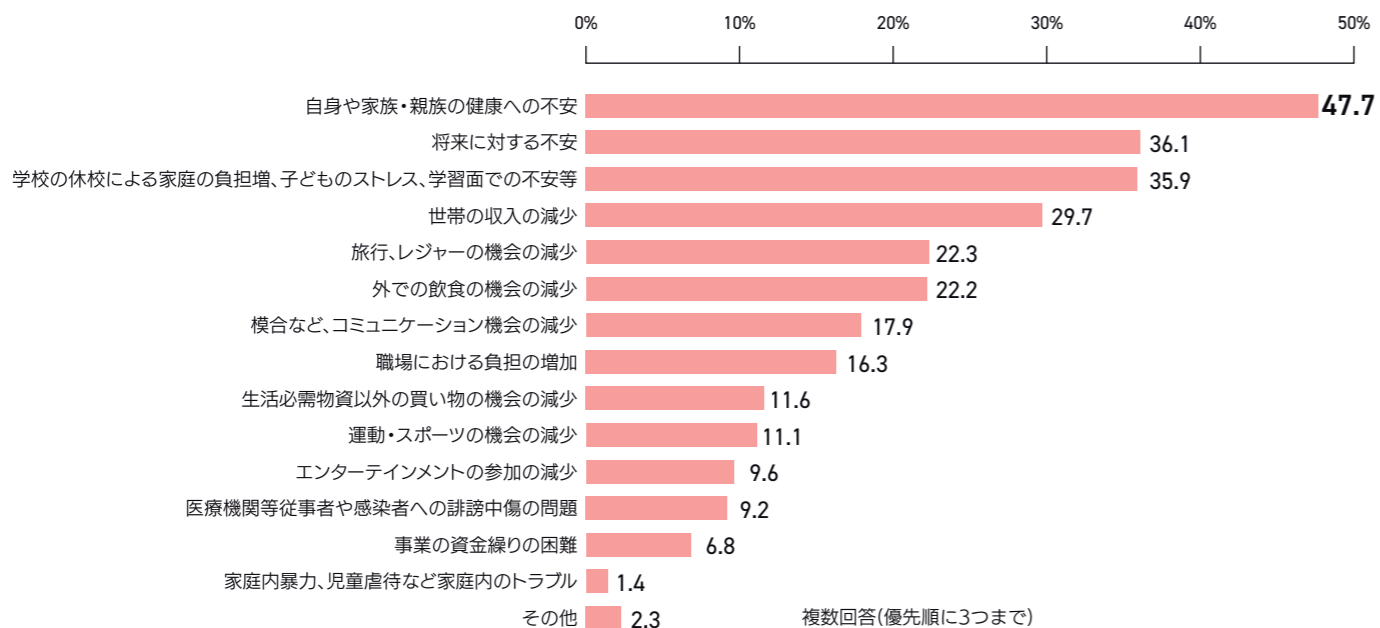
● 県民の9割強は、新型コロナウイルス感染症の影響があると感じています。



## 新型コロナウイルスの影響の要因

「新型コロナウイルス感染症」が日常生活に影響を及ぼした要因として考えられるものはどれですか。

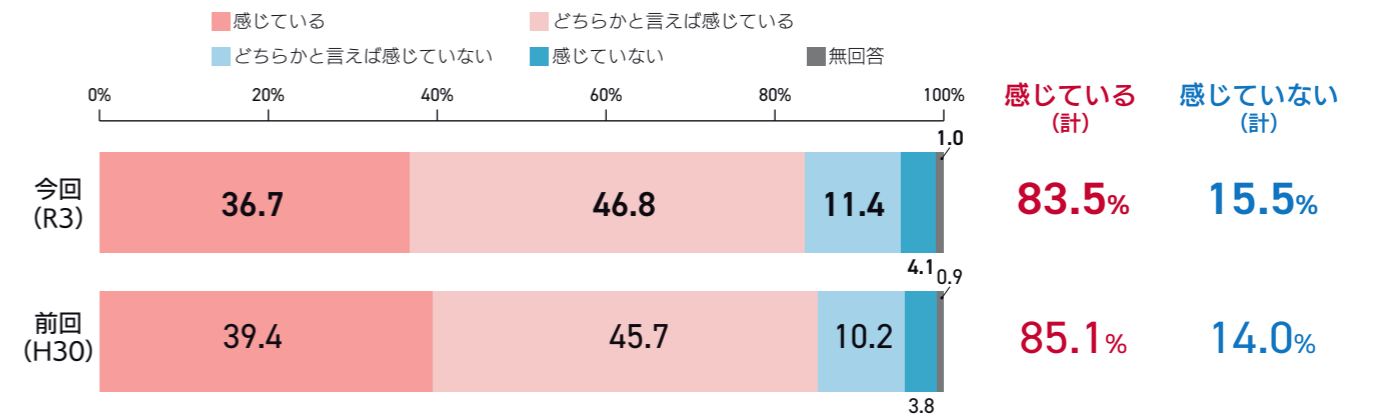
- 新型コロナウイルス感染症が日常生活に影響を及ぼした要因として、「自身や家族・親族の健康への不安」が4割後半と突出して高くなっています。
- 次いで、「将来に対する不安」、「学校の休校による家庭の負担増、子どものストレス、学習面での不安等」がそれぞれ3割半ばと高くなっています。



# 県民の自己像 本調査

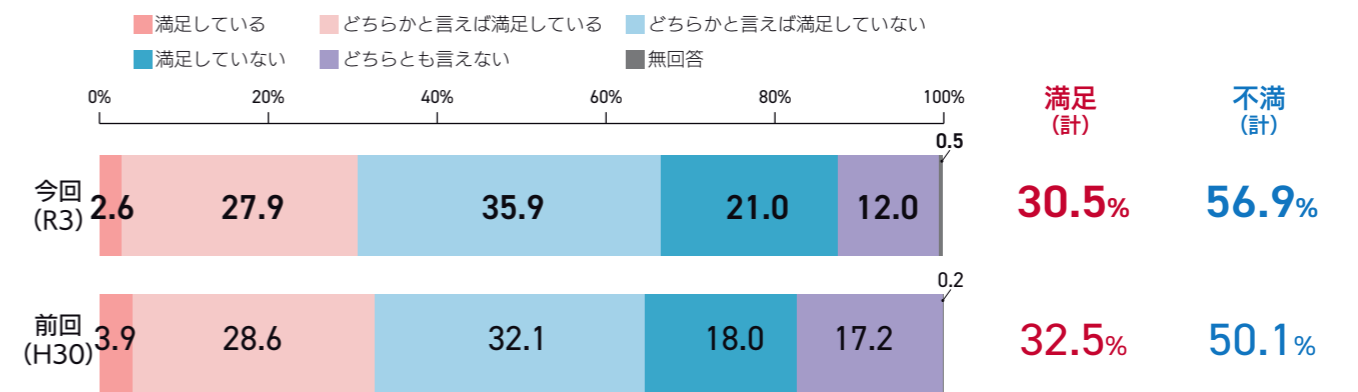
## 幸せ感 - 今、「幸せ」だと感じていますか？ -

● 県民の8割強は、「幸せ」を感じており、その割合は前回調査と同程度となっています。



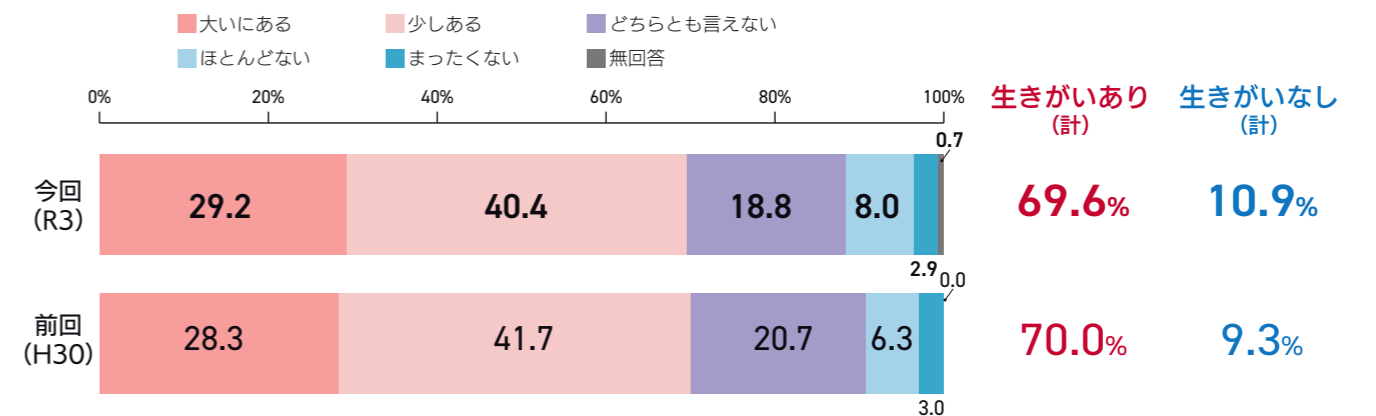
## 社会に対する満足度 - 現在の社会に全体として満足していますか？ -

● 県民の6割弱は、現在の社会について不満を感じており、前回調査より増えています。



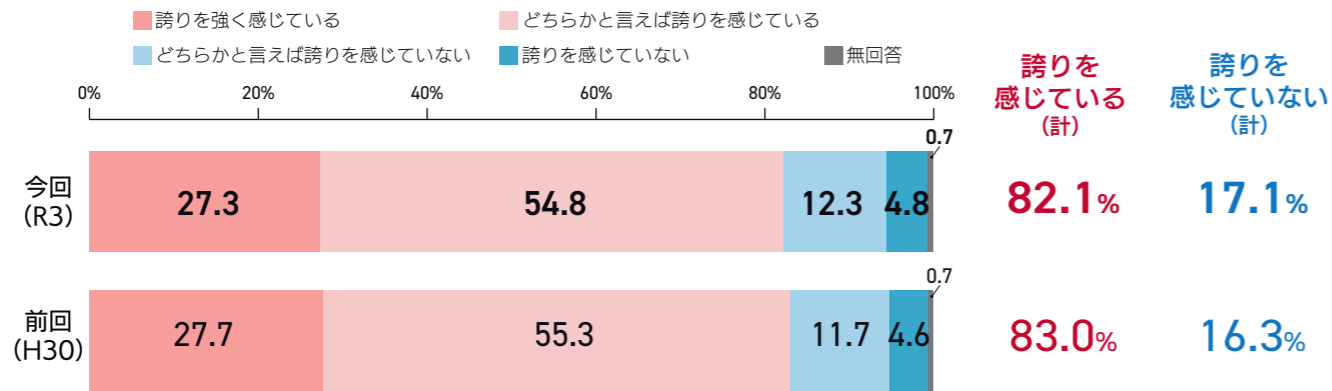
## 生きがい - 「生きがい」にしていることはありますか？ -

● 前回調査と同様に、県民の約7割は、生きがいを持っています。



## 沖縄県への誇り - 沖縄県に誇りを感じますか? -

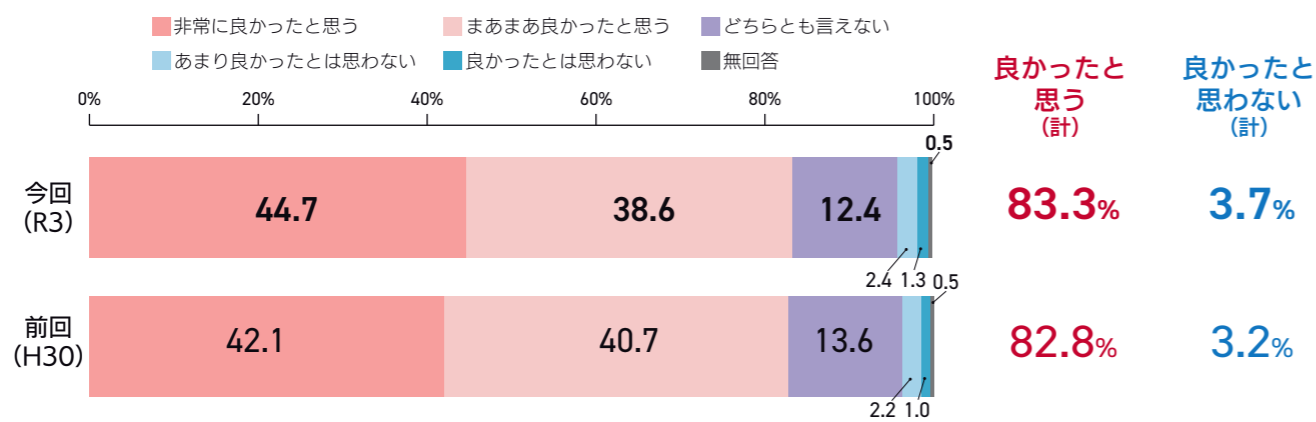
● 前回調査と同様に、県民の8割強は、沖縄県に誇りを感じています。



## 沖縄県に生まれて良かったか

- 沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思いますか? -

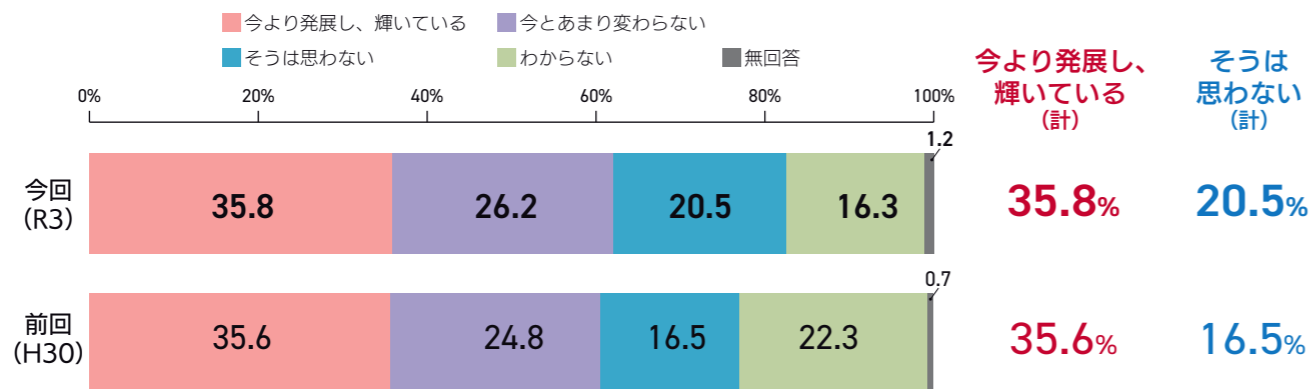
● 前回調査と同様に、県民の8割強は、沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと感じています。



## 20年先の沖縄

- 20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思いますか? -

● 「今より発展し、輝いている」は、3割強と最も高く、次いで「今とあまり変わらない」となっています。前回調査と比べて「そうは思わない」の割合は、増えています。



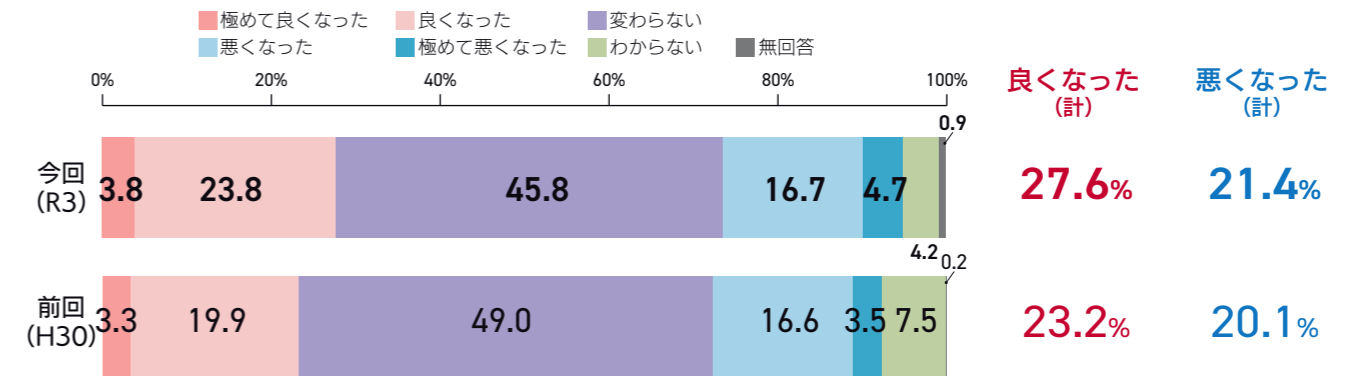
## 生活状態(くらしむき)

本調査

### 生活状態の変化

- 生活状態(くらしむき)は、4、5年前に比べてどうですか? -

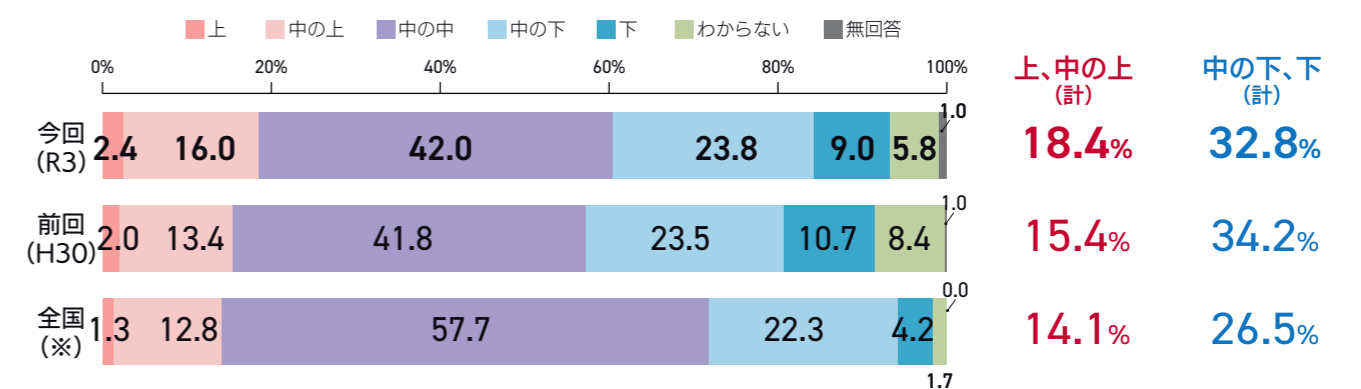
● 「変わらない」は、4割半ばを占めて最も高くなっています。前回調査と比べてその割合は減少し、「良くなった」の割合は、増加しています。



### 現在の生活状況

- 現在の生活状態(くらしむき)は、一般的にみて次のどれにあたると思いますか? -

● 「上」と「中の上」を合わせて2割弱と、前回調査に比べて増えています。「中の下」と「下」を合わせた割合は、3割強と前回に比べて減少しています。

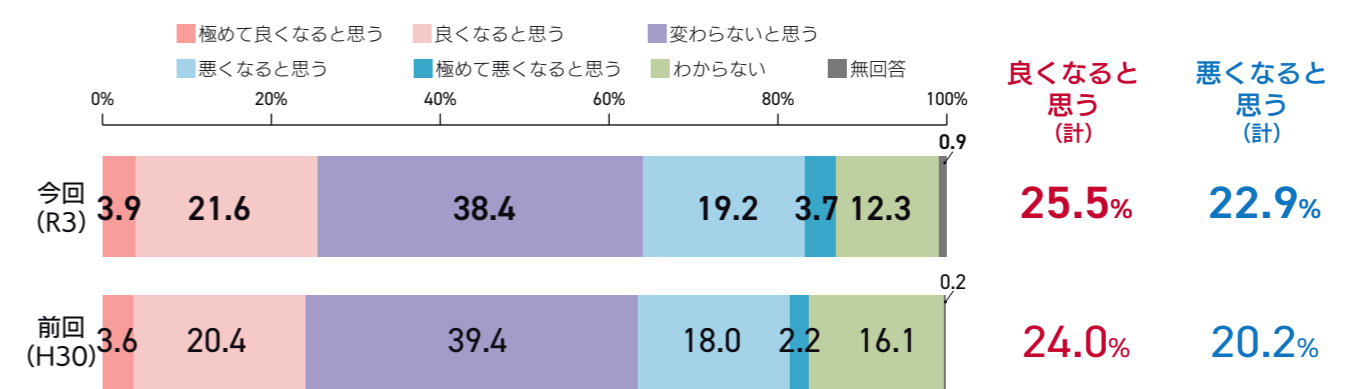


(※) 全国の調査結果は、内閣府「国民生活に関する世論調査」(令和元年6月調査)

### 生活状態の見通し

- 生活状態(くらしむき)は、今後はどうなると思いますか? -

● 前回調査と比べて、「極めて良くなると思う」と「良くなると思う」の割合の合計と、「悪くなると思う」と「極めて悪くなると思う」の割合の合計は、やや増加しています。



# 生活に関する事柄の重要度・充足度

県民の日常生活に必要な事柄を75項目に整理して、「重要度」と「充足度(満足度)」を6段階評価で質問。

## 生活に関する事柄の重要度

—次にあげる事柄(75項目)は、あなたの今の暮らしにとってどのくらい重要ですか?—

- 今の暮らしにとって重要な事柄は、「安心して家庭で水が使える」、「犯罪がない安心なくらしの確保」など安全・安心な生活基盤の整備に関することや、医療の提供体制に関すること、年金等の収入に関すること、子育て環境に関するなどが上位にあがっています。
- 平成24年度調査と比べて重要度の割合が高まった項目は、インターネットの接続環境、教育環境の充実、女性の活躍に関することなどです。

### 重要度※ 上位10項目 ※「非常に重要である」の割合 (%)

順位	項目	今回 [令和3年]	平成30年	平成27年	平成24年
1位	安心して家庭で水が使える	83.5	80.1 (1位)	79.2 (2位)	82.0 (1位)
2位	救急患者が適切な治療を受けられる	79.8	75.5 (3位)	74.4 (4位)	75.8 (5位)
3位	犯罪がない安心なくらしの確保	78.1	76.3 (2位)	79.1 (3位)	78.7 (3位)
4位	老後に不安のない年金が得られる	77.4	74.5 (4位)	80.2 (1位)	80.5 (2位)
5位	良質な医療が受けられる	75.6	71.9 (5位)	72.3 (7位)	71.5 (7位)
6位	下水道が整備されている	74.3	69.1 (7位)	67.4 (10位)	68.2 (10位)
7位	費用の心配なく、医療を受けられる	73.4	70.7 (6位)	73.7 (5位)	73.3 (6位)
8位	少年の非行や犯罪が少なくなる	69.6	68.0 (8位)	73.7 (5位)	76.4 (4位)
9位	防災対策が充実している	67.9	64.8 (11位)	66.9 (13位)	64.4 (13位)
10位	子供の育成環境が整っている	67.5	65.9 (9位)	66.8 (14位)	68.1 (11位)

(注)矢印は、順位の上昇・下降を表している

### 重要度の割合が高まった項目

[平成24年]から「満たされている」の伸びが **+5ポイント以上**の項目(全11項目)

快適にインターネットにつながる	<b>+23.7ポイント</b>	(R3:44.6%←H24:20.9%)
必要な資質を身に付けられる教育環境	<b>+7.7ポイント</b>	(R3:58.5%←H24:50.8%)
優れた能力や感性を育む教育環境の充実	<b>+7.1ポイント</b>	(R3:52.9%←H24:45.8%)
女性の社会活動参加、能力発揮	<b>+7.1ポイント</b>	(R3:42.9%←H24:35.8%)
目的地まで円滑に移動できる	<b>+6.7ポイント</b>	(R3:51.6%←H24:44.9%)

<上位6位以下の項目>

- 外国語教育が充実している
- 廃棄物の適正処理、減量化等が活発
- 下水道が整備されている
- 公平な教育機会が確保されている
- クリーンエネルギーが普及している
- 生涯学習する機会が得られている

## 生活に関する事柄の充足度

—次にあげる事柄(75項目)について、今それぞれがどのくらい満たされていますか?—

- 生活に関する事柄は、「安心して家庭で水が使える」、「下水道が整備されている」、「生活に必要な施設がある」の順で充足度の割合が高くなっており、これらの上位3項目は過去3回の調査と同じです。
- 平成24年度調査と比べて充足度の割合が高まった項目は、防犯・防災に関すること、商品の品質保持、食の安全・安心の確保に関することなどです。

### 充足度※ 上位10項目 ※「非常に満たされている」+「ある程度満たされている」の割合

順位	項目	今回 [令和3年]	平成30年	平成27年	平成24年
1位	安心して家庭で水が使える	77.7	78.5 (1位)	80.3 (1位)	78.8 (1位)
2位	下水道が整備されている	67.5	64.9 (2位)	68.2 (2位)	65.3 (2位)
3位	生活に必要な施設がある	62.9	56.7 (3位)	58.1 (3位)	56.6 (3位)
4位	住環境が良好	55.5	48.9 (4位)	50.5 (4位)	45.3 (5位)
5位	食の安全・安心が確保されている	52.9	47.7 (5位)	45.6 (8位)	41.9 (7位)
6位	犯罪がない安心なくらしの確保	51.2	47.1 (7位)	45.9 (7位)	38.6 (15位)
7位	公園や親しめる自然などがまわりにある	50.5	45.8 (8位)	46.3 (6位)	39.6 (9位)
8位	商品等の品質等が確保されている	50.3	45.0 (9位)	44.3 (9位)	39.1 (11位)
9位	豊かな自然が保全されている	48.1	47.2 (6位)	47.6 (5位)	39.0 (12位)
10位	良質な医療が受けられる	45.1	39.2 (13位)	43.4 (12位)	37.2 (18位)

(注)矢印は、順位の上昇・下降を表している

### 充足度の割合が高まった項目

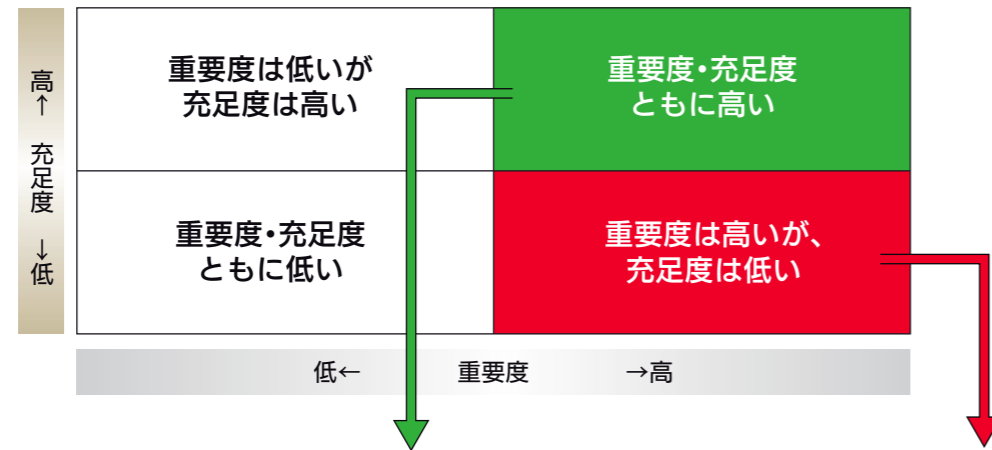
[平成24年]から「満たされている」の伸びが **+10ポイント以上**の項目(全10項目)

防災対策が充実している	<b>+12.9ポイント</b>	(R3:39.6%←H24:26.7%)
犯罪がない安心なくらしの確保	<b>+12.6ポイント</b>	(R3:51.2%←H24:38.6%)
商品等の品質等が確保されている	<b>+11.2ポイント</b>	(R3:50.3%←H24:39.1%)
食の安全・安心が確保されている	<b>+11.0ポイント</b>	(R3:52.9%←H24:41.9%)
費用の心配なく、医療を受けられる	<b>+10.9ポイント</b>	(R3:34.6%←H24:23.7%)
近くで希望する仕事につける	<b>+10.9ポイント</b>	(R3:28.8%←H24:17.9%)
公園や親しめる自然などがまわりにある	<b>+10.9ポイント</b>	(R3:50.5%←H24:39.6%)
仕事と生活が両立しやすい環境	<b>+10.8ポイント</b>	(R3:29.7%←H24:18.9%)
住環境が良好	<b>+10.2ポイント</b>	(R3:55.5%←H24:45.3%)
適職、やりがいのある仕事ができる	<b>+10.2ポイント</b>	(R3:36.0%←H24:25.8%)

## 県民からみた重要度・充足度

- 県民の日常生活に必要な事柄75項目の重要度・充足度の平均得点を算出し、その関係性から県民ニーズの状態を4つの区分に分類しました(下図参照)。
- 重要度・充足度ともに相対的に高い区分には、上下水道をはじめとした22項目が該当しています。これらについては現在の充足度は高い水準にあります。引き続き、県民のニーズに対応できるよう継続して維持・強化が、必要な項目と位置づけられます。
- 一方、相対的に重要度は高いが充足度は低い区分には、収入や就労に関することなど18項目が該当しており、県民のニーズに対する取り組みの強化が、求められる項目と位置づけられます。

### 重要度・充足度の関係 ※平均得点に基づく整理



#### 重要度・充足度ともに高い

- 安心して家庭で水が使える
- 下水道が整備されている
- 犯罪がない安心な暮らしの確保
- 食の安全・安心が確保されている
- 生活に必要な施設がある
- 救急患者が適切な治療を受けられる
- 住環境が良好
- 商品等の品質等が確保されている
- 良質な医療を受けられる
- 防災対策が充実している
- 健康診断、健康の相談が受けやすい
- 健全育成、教育環境がつけられている
- 子供の育成環境が整っている
- 夫婦が家事や育児にとりくむ
- 暴力の防止と支援環境が充実
- 公園や親しめる自然などがまわりにある
- 適職、やりがいのある仕事ができる
- 高齢者が住み慣れた地域でくらす
- 学童保育所等が利用しやすい
- 平和を願う心が継承、発信されている
- 廃棄物の適正処理、減量化等が活発
- 健康の維持や増進に努める

#### 重要度は高いが充足度は低い

- 老後に不安のない年金が得られる
- 収入が着実に増える
- 失業の不安がなく働ける
- 物価が安定している
- 費用の心配なく、医療を受けられる
- 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる
- 優れた能力や感性を育む教育環境の充実
- 少年の非行や犯罪が少なくなる
- 障害者の社会参加が拡大している
- 公平な教育機会が確保されている
- 交通の安全が確保されている
- 仕事と生活が両立しやすい環境
- 介護サービスが充実し利用しやすい
- 目的地まで円滑に移動できる
- イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- 必要な資質を身に付けられる教育環境
- 公共交通機関が利用しやすい
- 生涯学習する機会が得られている

(注)下線の項目は、充足度が特に高まった項目(前頁参照)

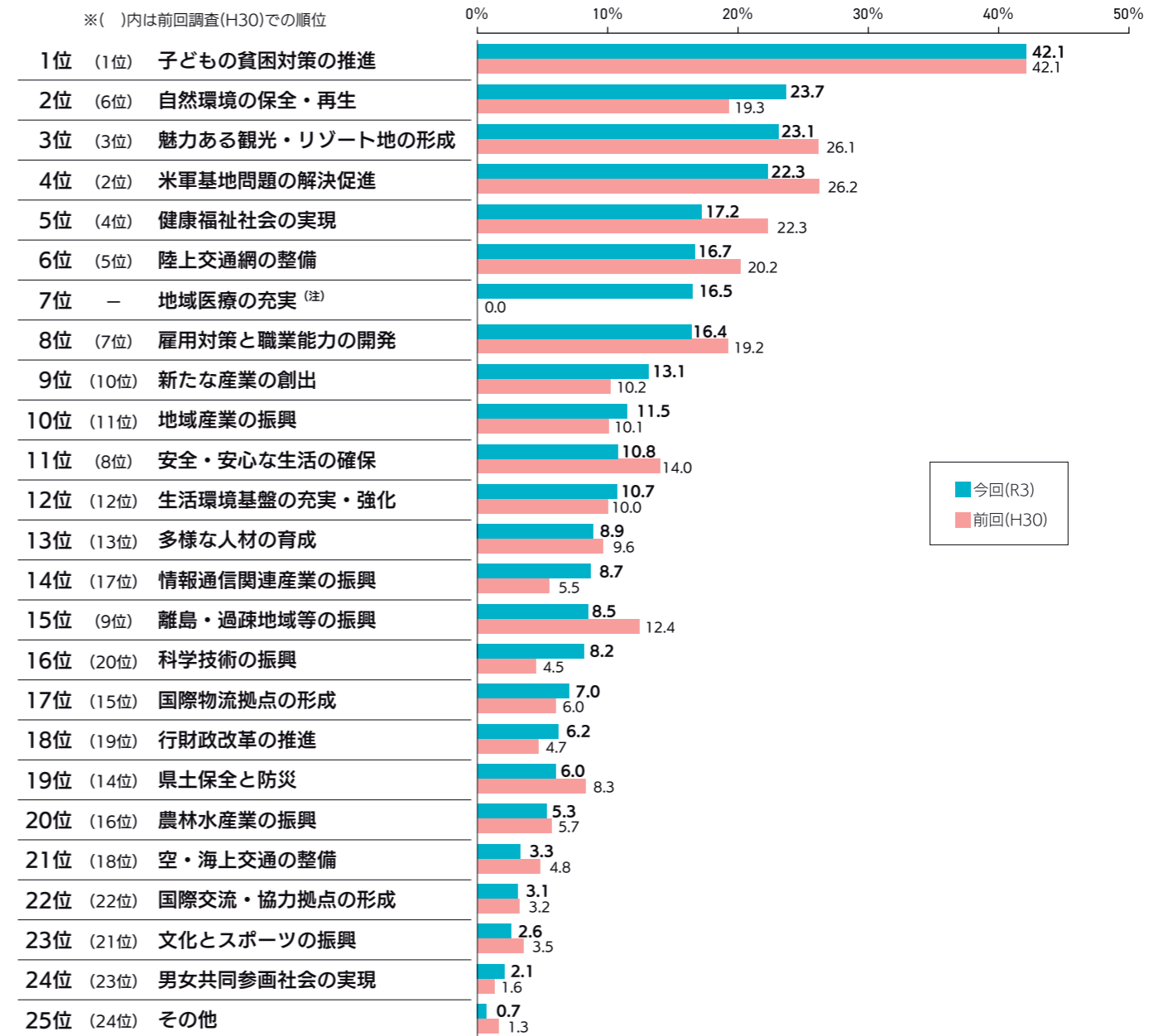
## 重点的に取り組むべき施策

本調査

### 県政全般の重点的に取り組むべき施策

- 沖縄県の施策として、特に重点を置いて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか? -

- 今後、県の施策として特に重点を置いて取り組むべきこととして、「子どもの貧困対策の推進」が、4割超と突出して高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもの貧困対策の推進」は、前回と変わらず1位となっており、「自然環境の保全・再生」が、6位から2位と大きく順位を上げています。新たに「地域医療の充実」の項目が、7位に加わっております。



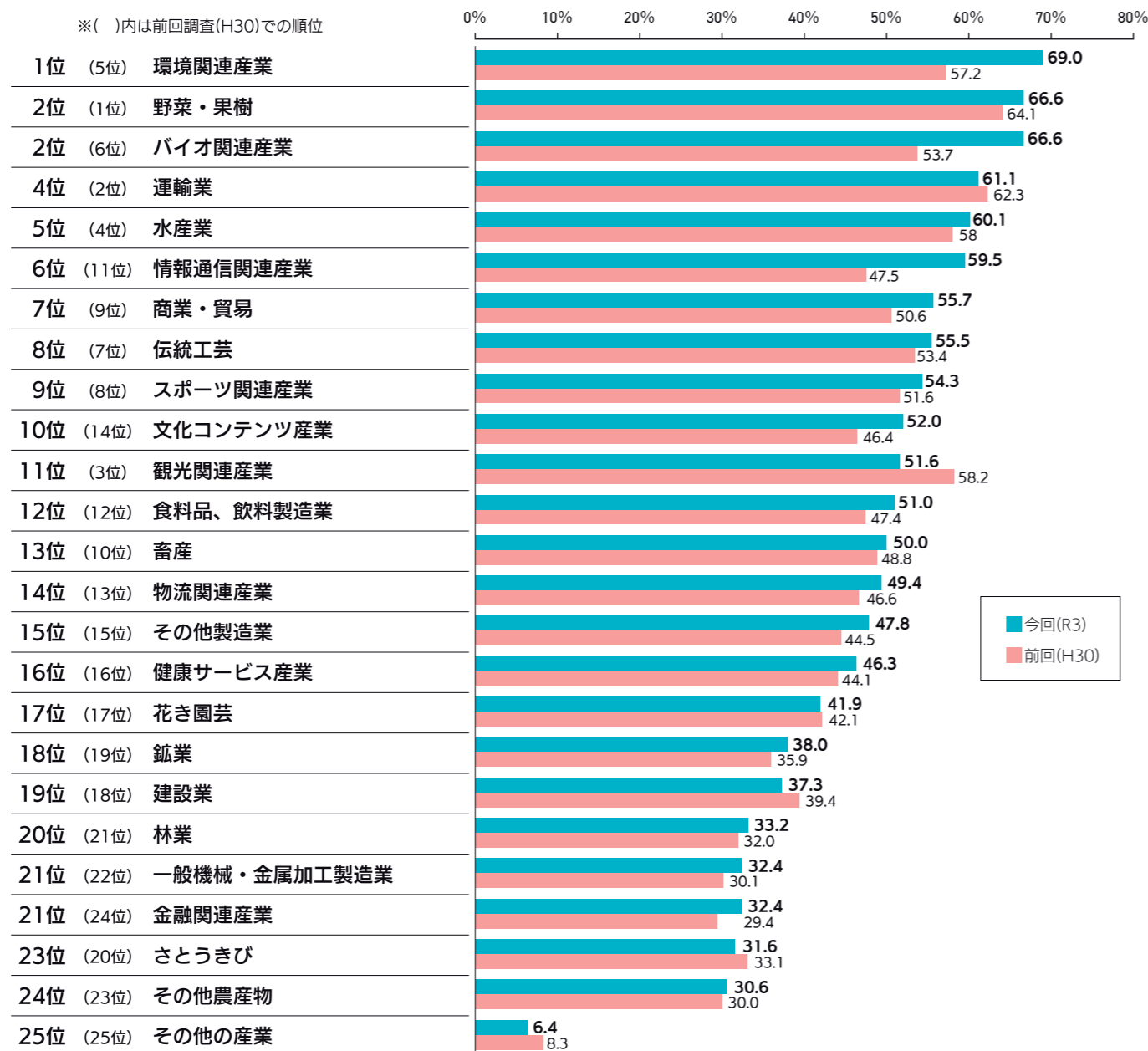
(注)「地域医療の充実」は今回調査からの新規項目

複数回答(優先順に3つまで)

## 注力すべき県内産業

－沖縄県の振興のためには次の産業にどのくらい力をいれるべきだと思いますか？－

- 今後、沖縄県の振興のために「特に力を入れる」と「もう少し力を入れる」を合わせた割合の高い産業は、「環境関連産業」、「野菜・果樹」、「バイオ関連産業」、「運輸業」、「水産業」が6割を超え、なかでも「環境関連産業」が約7割と最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、上位10位のうち、「環境関連産業」が5位から1位、「バイオ関連産業」が6位から2位、「情報通信関連産業」が11位から6位と大きく順位を上げています。



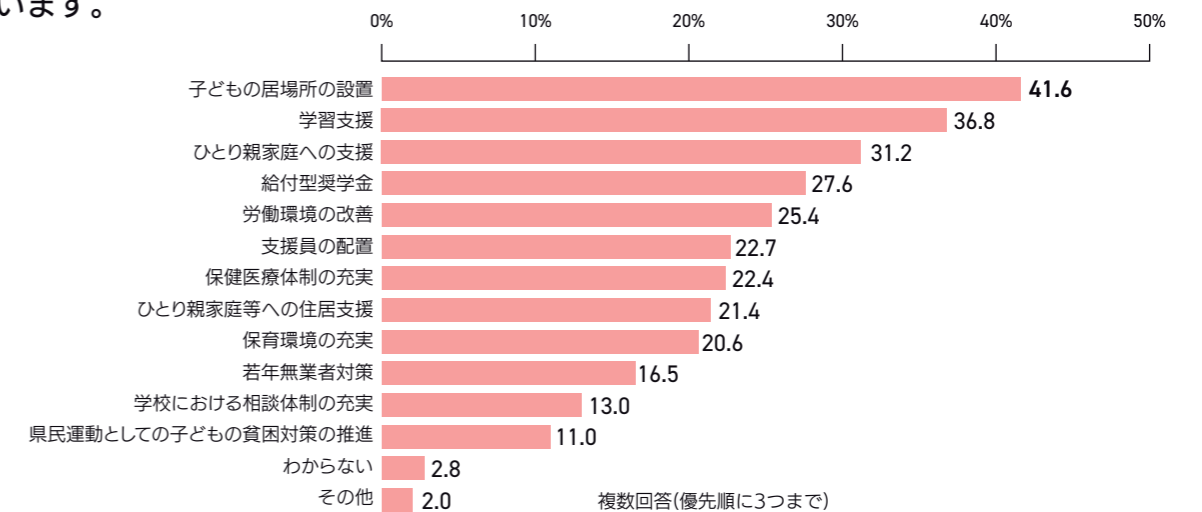
## 子どもの貧困対策

本調査

### 子どもの貧困対策(行政施策)

－子どもの貧困問題について、行政(国、県、市町村)にどのくらい力をいれてほしいものは何ですか？－

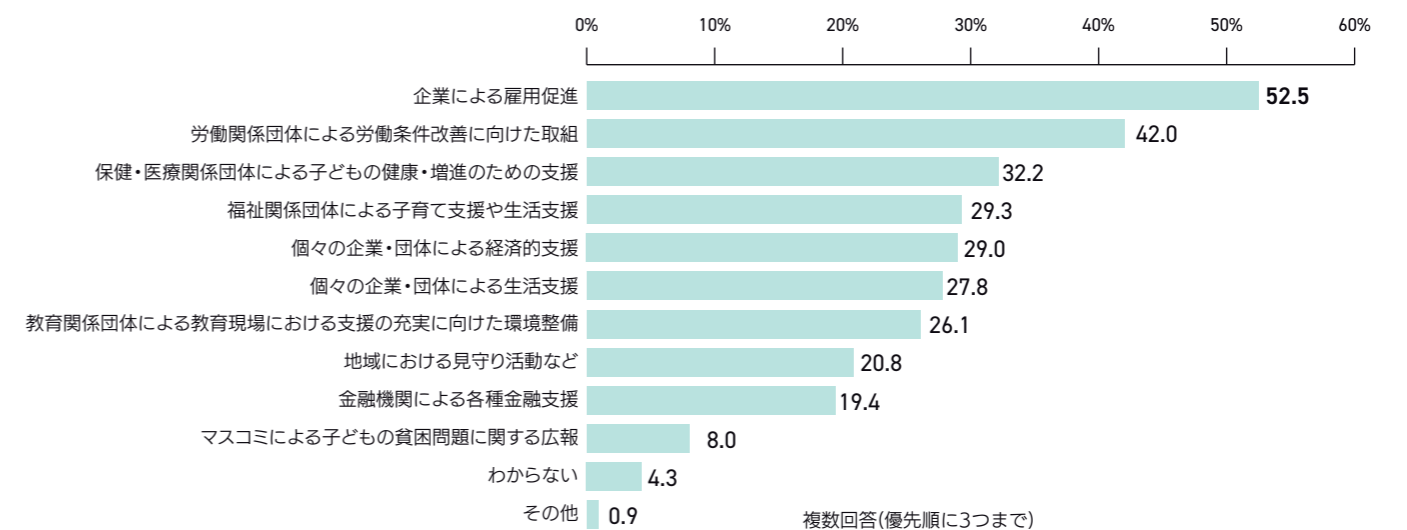
- 子どもの貧困対策として行政が特に力をいれてほしいものは、子ども食堂などの「子どもの居場所の設置」、「学習支援」及び「ひとり親家庭への支援」となっており、それぞれ3割を超えています。



### 子どもの貧困対策(行政以外に期待する役割)

－子どもの貧困問題の解消に向けて、企業、団体など行政以外に期待する役割等がありますか？－

- 子どもの貧困対策における企業や団体などの行政以外のものに期待する役割として「企業による雇用促進」と「労働条件改善に向けた取組」といった保護者の就労に関するものが、上位2項目となっており、うち前者は5割を超えています。
- このほか5位までに、「保健・医療関係団体」、「福祉関係団体」、「個々の企業・団体」による子ども・子育てへの健康・増進のための支援や生活支援、経済支援が、あがっています。



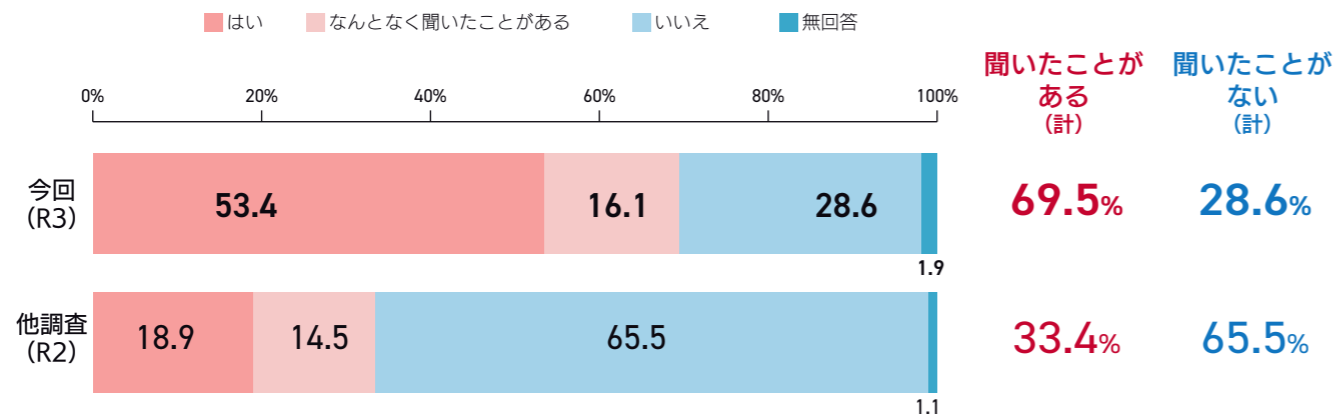
# SDGs について

本調査

## SDGsの認知度

「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。

- 県民の7割弱は、SDGsという言葉を知っています。令和2年度に実施したSDGsに係る県民認知度調査と比べると、県民の認知度は、高まっています。

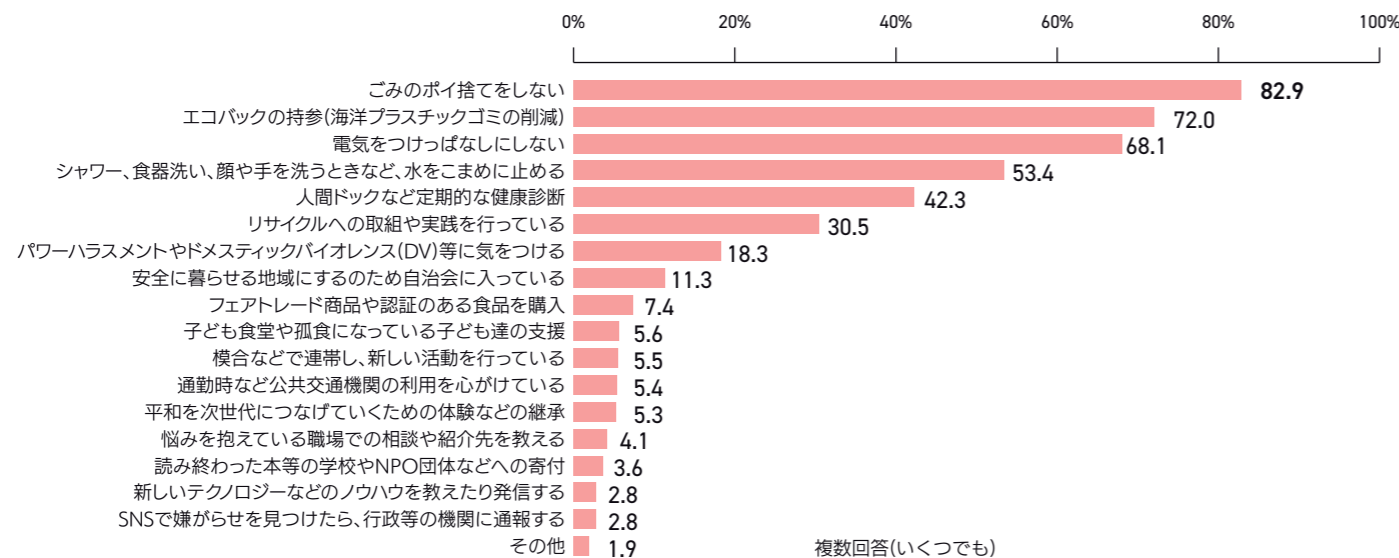


他調査(R2)は、令和2年度沖縄県SDGsに係る県民認知度調査の結果を引用

## SDGsを実践している事柄

「今現在、日常生活で実践している事柄についてあてはまるものをお選びください。」

- 日常生活で SDGsを実践している事柄は、「ごみのポイ捨てをしない」が最も高く、8割を超えています。
- 次いで、「エコバックの持参(海洋プラスチックゴミの削減)」、「電気をつけっぱなしにしない」が高く、7割程度となっています。



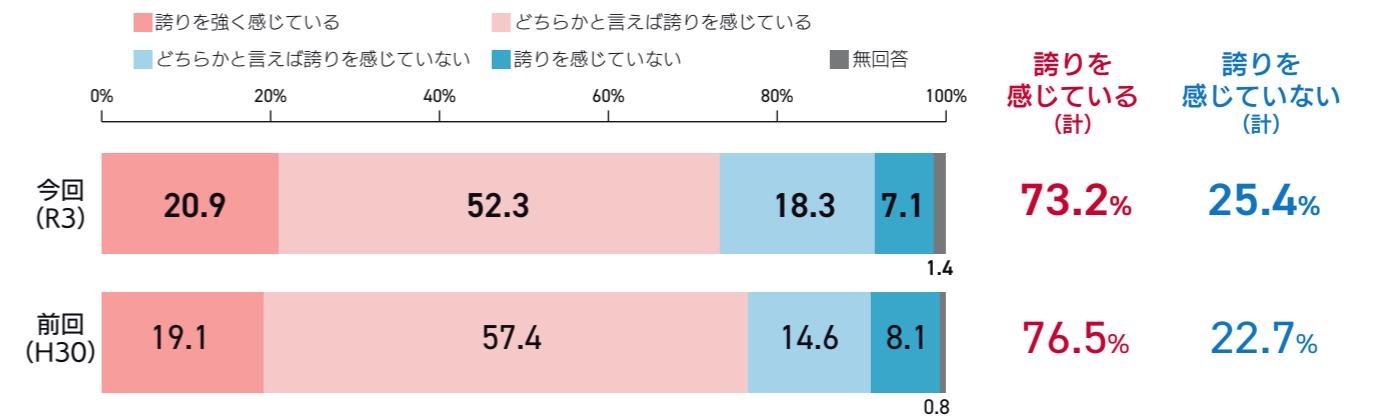
# 離島住民の意識・ニーズ

離島調査

## 島への誇り

「この島に誇りを感じますか?」

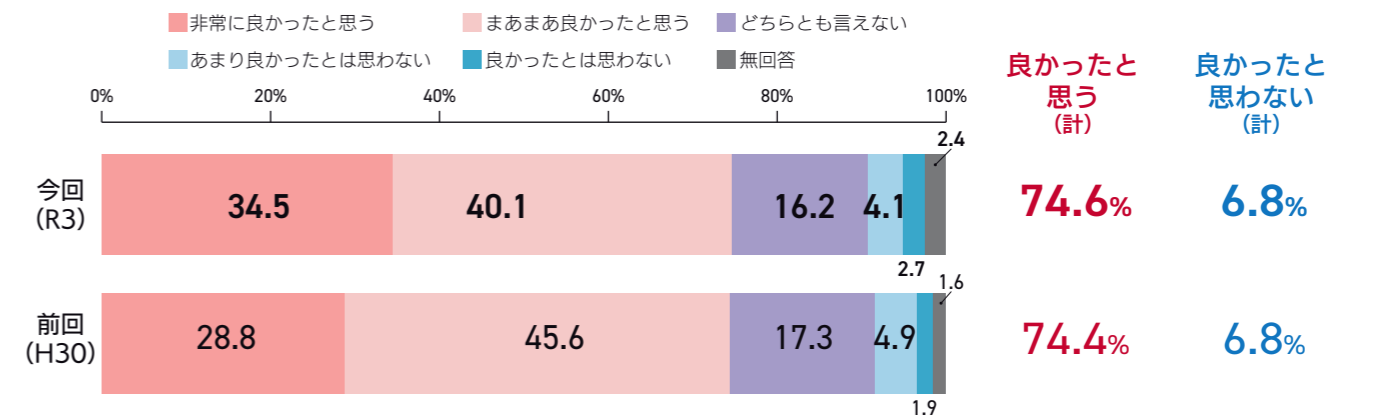
- 離島住民の7割強は、住んでいる島に誇りを感じています。しかしながら、前回調査と比べて「どちらかと言えば誇りを感じている」の割合は減少し、「どちらかと言えば誇りを感じていない」の割合は、増えています。



## 島に生まれて良かったか

「この島に生まれ、あるいは生活できて良かったと思いますか?」

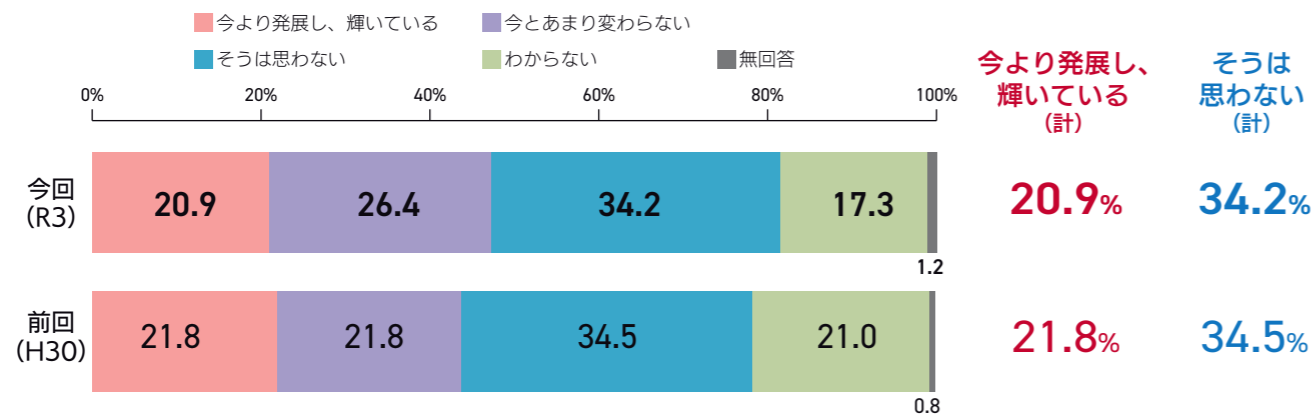
- 離島住民の7割半ばは、住んでいる島に生まれ、あるいは生活できて良かったと感じています。さらに、前回調査と比べて「まあまあ良かったと思う」の割合は減少し、「非常に良かったと思う」との回答の割合は、高くなっています。



## 20年先の島

－20年先のこの島は現在よりも発展し、輝いていると思いますか？－

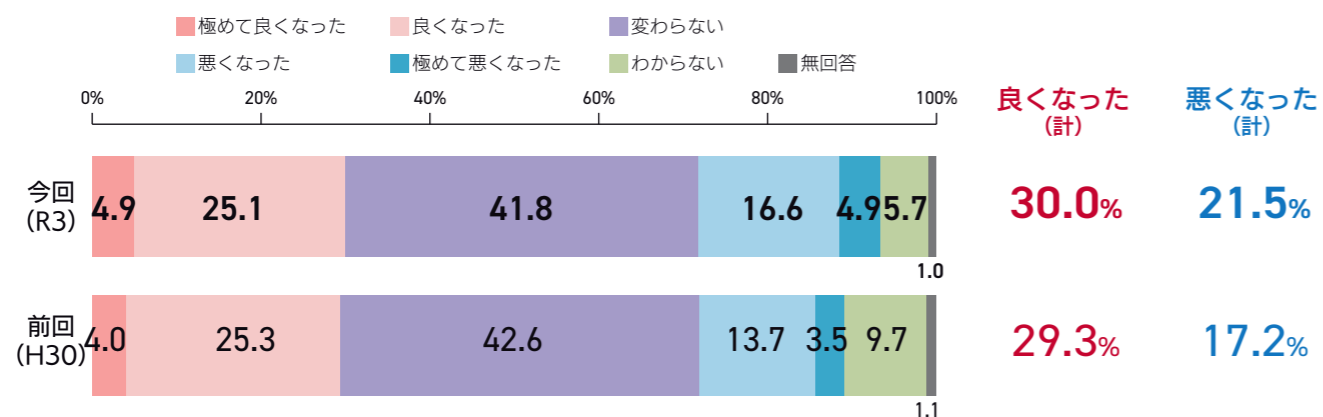
- 「(今より発展し、輝いているとは)思わない」は、3割半ばと最も高く、「今とあまり変わらない」は、前回調査より増加し、2割半ばとなっています。



## 生活状態の変化

－生活状態(くらしむき)は、4、5年前に比べてどうですか？－

- 「変わらない」は、4割を超えて最も高く、次いで「良くなった」は、3割を占めています。前回調査と比べて「良くなった」は、3割程度とほぼ同じである一方で、「悪くなった」は、2割強と増加しています。



## 離島振興に関する施策

【評価】

－沖縄県は以下の離島振興に関する施策に取り組んでいます。それぞれについて4、5年前と比べてどう変わりましたか？－

【重点的に取り組むべき施策】

－沖縄県や市町村等の施策として、今後重点的に取り組むべきことはどのようなことだと思いますか？－

- 離島振興に関する施策の成果として評価の高い項目は、「インターネットの使いやすさ」となっており、離島住民の5割半ばは、4、5年前に比べて良くなったと評価しています。次いで、「島外に出る際の交通運賃」、「島内の道路の整備」、「観光客の増加」の順に評価が、高くなっています。
- 今後重点的に取り組むべきことでは、「食品、日用品など生活必需品の価格」、「島外に出る際の交通運賃」、「ガソリン価格の安定」といった日常生活に要する製品の価格や離島住民の移動に係る費用に関するものが、上位3位を占め、それぞれ5割前後となっています。

### 離島振興施策の成果として評価が高い項目

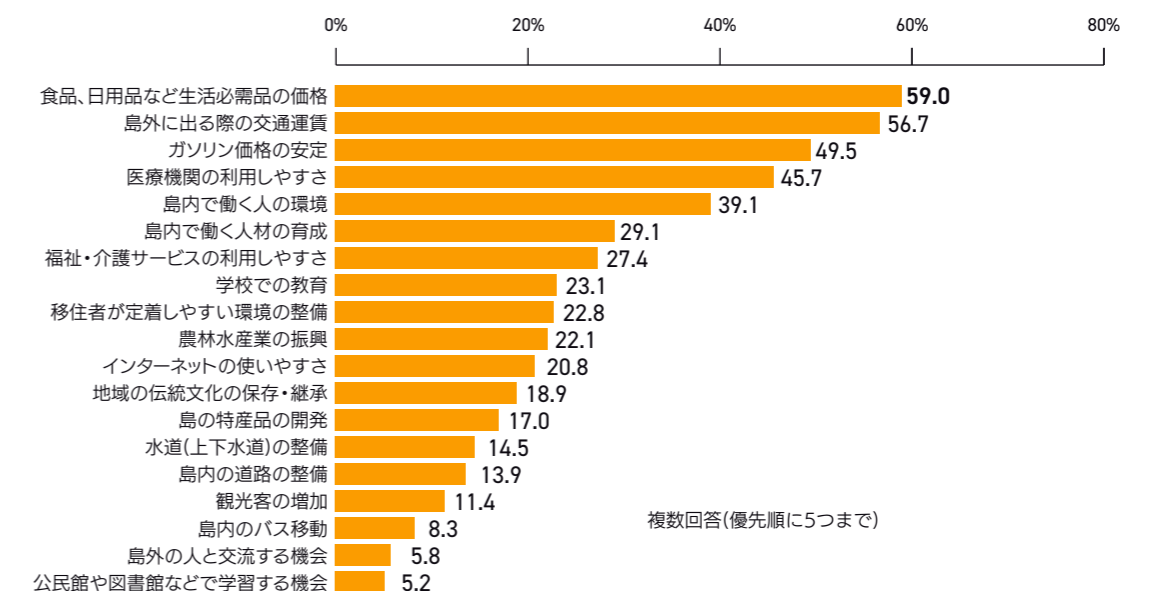
4、5年前に比べて「極めて良くなった」「良くなった」と評価された項目(上位5項目)

インターネットの使いやすさ	55.8%	(極めて良く:11.1% + 良く:44.7%)
島外に出る際の交通運賃	42.4%	(極めて良く:12.5% + 良く:29.9%)
島内の道路の整備	41.5%	(極めて良く: 5.9% + 良く:35.6%)
観光客の増加	32.7%	(極めて良く: 7.2% + 良く:25.5%)
島の特産品の開発	28.6%	(極めて良く: 3.1% + 良く:25.5%)

<上位 6 位以下の項目(25%以上)>

- 学校での教育
- 水道(上下水道)の整備

### 今後重点的に取り組むべきこと



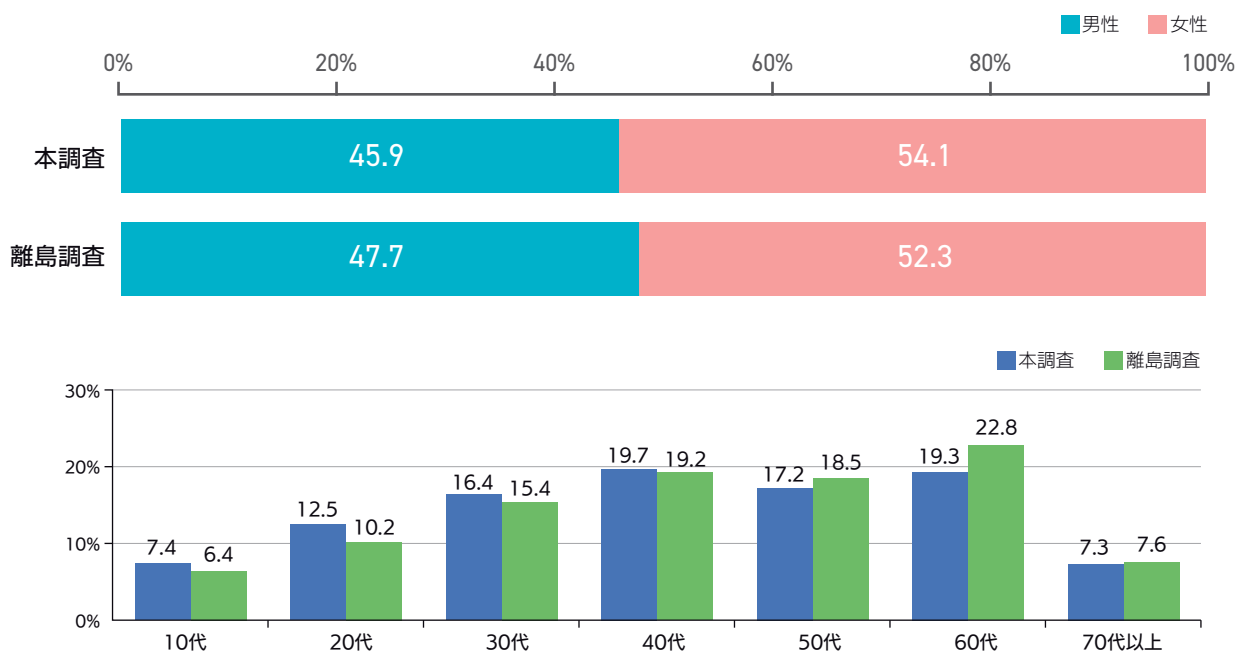


# 調査の概要

## 調査の概要

	県民意識調査（本調査）	離島住民特別調査（離島調査）
調査対象	県内に居住する満15歳以上満75歳未満の男女 4,000人	県内の有人離島（沖縄本島、宮古島、石垣島を除く）に居住する満15歳以上満75歳未満の男女 1,000人
抽出方法	層化二段無作為抽出法	
調査方法	郵送調査（回答は郵送又はウェブで回収）	
調査期間	令和3年8月27日～9月30日	
有効回収（率）	2,736人（68.4%）	730人（73.0%）

## 回答者の基本属性



沖縄県の公式ホームページに調査報告書（詳細版）を掲載しております。  
本概要版とあわせて、ご参照ください。

沖縄県 県民意識調査

検索

《編集・発行》 沖縄県企画部 企画調整課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号  
電話：098-866-2026 FAX：098-866-2351  
URL：<https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/index.html>



令和4年3月発行